



2022年2月25日

「バレンタイン・チャリティ募金」結果のお知らせ
集まった募金195万円を寄付
 西アフリカの子供たちを応援して30年！募金の累計は4,608万円に！

共栄火災海上保険株式会社(本社:東京都港区新橋1-18-6、社長:石戸谷 浩徳)は、毎年恒例の「義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり」バレンタイン・チャリティ募金を実施しました。

この活動は、職場の儀礼的な義理チョコの配布を「もっと有意義な目的に使えないか」と考えた女性社員の発案によって始まった自発的な募金活動で、バレンタインデーの義理チョコやホワイトデーのお返しにかかる費用の一部を自粛して1口500円を募金しようという活動です。

集まった募金は毎年、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」(以下「マザーランド・アカデミー」)を通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプにおける植林費用や医療品購入費用、水田拡張事業などに活用されています。1993年に開始されて以来途絶えることなく続けられ、今年で30年目を迎えました。

職場で募金活動に取り組む様子



チラシで募金を呼びかけ

今年の募金活動は、昨年に引き続きマザーランド・アカデミーがマリ共和国のサハラ砂漠南端地域にある難民キャンプで取り組む水田づくりに役立ててもらうために、「田んぼ作ろう！プロジェクト」として展開しました。

チャリティ募金の結果、役員・社員や関連会社社員から1,302,716円が集まりました。この募金に会社からのマッチング・ギフト651,358円を加え、募金総額1,954,074円をマザーランド・アカデミーに寄付します。なお、今年の結果を含めた過去30年間の募金総額は約4,608万円となり、水田づくり

他にも、井戸やくすりハウス(学校兼医薬品の保管庫)の建設、医薬品の援助、砂漠化防止のための植林などに活用されています。



水田づくりの様子(マリ共和国) ※写真提供:マザーランド・アカデミー

当社では「バレンタイン・チャリティ募金」のほかに、毎年12月に衣類や薬、文房具、おもちゃなどの物資による支援を目的とした「クリスマス・チャリティ」を実施しており、両活動を当社の国際貢献活動の2本柱として今後も積極的に取り組んでまいります。

「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」について

「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」は、命の等しさ尊さを子供たちに伝える過程が「教育」そのものだと考えた母親たちが、家でも学校でも地球上のどこにいても、当たり前に行動に移せる子供を育てることを目指して「命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会」として1982年に活動を開始しました。世界で最も支援が必要であると国連が指定している国々や地域へ確かな支援ルートを持っており、年間約10便(船便)で物資を送っています。

マザーランド・アカデミー・インターナショナル
＜命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会＞

代表:村上章子 氏

【本部事務局】〒140-0004 東京都品川区南品川5-16-14
TEL:03-3450-5829(平日21:00~22:00)/FAX:03-5461-8929(24時間受付)

マザーランド・アカデミーが取り組む「子どもたちによる緑の革命事業」

マザーランド・アカデミーがマリ共和国の難民キャンプで取り組む「子どもたちによる緑の革命事業」は、「木々は砂漠を潤し教育は民を潤す」を原点とし、良質の井戸、植林場、学習所、農場等をセットで建設し、サハラ砂漠南端地域にグリーンエリアを設置する砂漠化阻止・自立支援事業です。そして、この事業の一環として実施されているのが「世界の田んぼ・みんなの畑」です。田んぼ作りを通じて子供たちが自ら食べるものを作ることができること、作った米を更に貧しい人々へ与えること、そして「命の大切さ」と「平等」について学びます。

■ バレンタイン・チャリティの実績(ご参考)

| | | |
|---------|------|--|
| 1993年2月 | 第1回 | 約201万円を井戸掘りの資金として寄付 |
| 1994年2月 | 第2回 | 約201万円を学校兼医薬品の保管庫「くすりハウス」の建設資金として寄付 |
| 1995年2月 | 第3回 | 約112万円を「くすりハウス」の中に入れるランプ、黒板などの備品購入資金として寄付 |
| 1996年2月 | 第4回 | 約130万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 1997年2月 | 第5回 | 約150万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 1998年2月 | 第6回 | 約128万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 1999年2月 | 第7回 | 約110万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 2000年2月 | 第8回 | 約115万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 2001年2月 | 第9回 | 約96万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 2002年2月 | 第10回 | 約84万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 2003年2月 | 第11回 | 約79万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 2004年2月 | 第12回 | 約52万円を西アフリカの植林費用および果樹園の造園費用として寄付 |
| 2005年2月 | 第13回 | 約60万円を西アフリカの植林費用として、約58万円をスマトラ島沖地震災害の救援募金として寄付 |
| 2006年2月 | 第14回 | 約69万円を西アフリカの植林費用として寄付 |
| 2007年2月 | 第15回 | 約174万円を西アフリカの植林費用および医薬品購入費用として寄付 |
| 2008年2月 | 第16回 | 約227万円を学校兼医薬品の保管庫「くすりハウス」の建替資金および医薬品購入費として寄付 |
| 2009年2月 | 第17回 | 約255万円を西アフリカ地域の水田づくりの費用として寄付 |
| 2010年2月 | 第18回 | 約150万円を西アフリカの水田づくりの費用として、またハイチ大地震の支援金として寄付 |
| 2011年2月 | 第19回 | 約180万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2012年2月 | 第20回 | 約190万円を西アフリカの水田づくり費用として、また東日本大震災の被災地支援を目的に寄付 |
| 2013年2月 | 第21回 | 約170万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2014年2月 | 第22回 | 約155万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2015年2月 | 第23回 | 約164万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2016年2月 | 第24回 | 約156万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2017年2月 | 第25回 | 約170万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2018年2月 | 第26回 | 約185万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2019年2月 | 第27回 | 約205万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2020年2月 | 第28回 | 約193万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2021年2月 | 第29回 | 約204万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |
| 2022年2月 | 第30回 | 約195万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付 |

現在までの総合計 約4,608万円